

Belle K-CAL 対応品番・曲率一覧表

単位:mm

デザイン	基材サイズ			最大 切削深	最薄 残厚	対応曲率(半径)
	幅(W)	長(L)	厚(t)			
BKWA-08	500	1500	15	7	8	6000
BKWA-09	500	1500	15	9	6	5000
BKWA-10	500	1500	15	7	8	5500
BKWA-11	500	1500	15	8	7	4500
BKWA-12	500	1500	15	7	8	4500
BKCR-04 (R対応)	500	1500	15	12	3	4000
BKCR-06 (R対応)	500	1500	15	12	3	5500
BKCR-07 (R対応)	500	1500	15	10	5	4000
BKCR-12 (R対応)	500	1500	15	8	7	4500
BKCR-13 (R対応)	500	1500	15	10	5	3500
BKCR-18	480	1500	15	8	7	6500
BKCR-19	500	1500	15	7.5	7.5	4500
BKCR-20	500	1500	15	8	7	4000
BKLI-13	500	1500	15	8.5	6.5	5500
BKLI-16 (R対応)	500	1500	15	11.5	3.5	4500
BKLI-17 (R対応)	500	1500	15	11.5	3.5	4000
BKLI-18 (R対応)	500	1500	15	11.5	3.5	4000
BKLI-25A	500	1500	15	9.2	5.8	3500
BKLI-26A	500	1500	15	9	6	3500
BKLI-30	500	1500	15	9.5	5.5	4000
BKLE-03	500	1500	15	9	6	4500
BKSD-302	500	1500	15	9	6	4500

※上記品番のうち、(R対応)となっている品番は曲面壁対応とするために、パネル厚みを通常品番より薄くしたものとなります。(残厚が5mm未満となります。)

Belle

Premium Panel

Belle K-CAL 曲面壁施工説明書

注意事項

- 作業前にこの曲面施工説明書を必ず読み、正しく施工して下さい。
- 作業前に輸送時の破損、傷の確認をお願いします。その後の責任は負いかねますのでご注意下さい。
- 建築基準法、火災予防条例などの法令や法規に従って施工して下さい。
- 施工の手順は、必ず施工説明書の通りに行ってください。それ以外の方法で不良品が生じても責任は負いかねます。よろしくをお願いします。

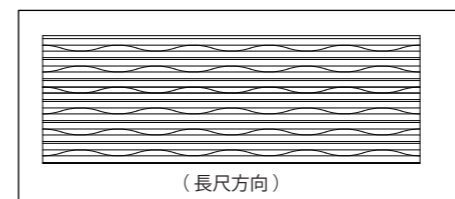
〈はじめに〉

別紙(対応品番・曲率一覧表)に示す品番・曲率内においてのみ、曲面施工が出来ます。ただし、反らない材料のため、石膏ボードのようにクセ付けをすることが、出来ません。従って、施工には十分に注意して下さい。

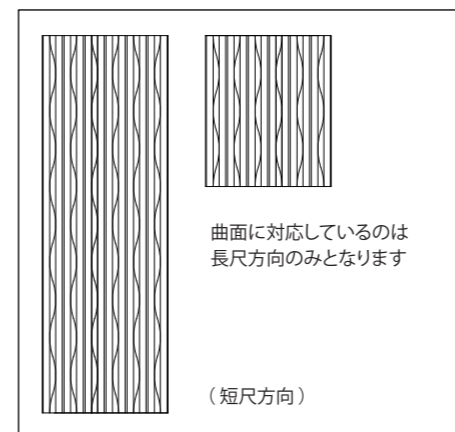
曲げの方向を横向き(←→)とした場合、パネルの方向は以下の通りとなります。



曲面壁施工可



曲面壁施工不可



〈下地施工について〉

- 曲面壁を下地組みし、その上に合板、または石膏ボード(9mm厚以上)を捨て貼りして下さい。
- 合板、石膏ボードは不陸のないように調整して下さい。
- 曲面を指定の曲率となる様(部分的に急な曲率とならないよう)下地組みをして下さい。
- Belle K-CALの継ぎ目位置に下地を設けて下さい。(Belle K-CALの端部をビスで固定して頂く必要があるため)
- Belle K-CALジョイント部には、下地が必要ですので、事前の下地施工時に割り付けに合わせた下地組みをお願い致します。

〈施工について〉

- 曲面に反って曲げる場合、過度に力を加えると破断してしまいますので、必ず2名作業にて注意しながら施工して下さい。
- 事前に割り付け通り、Belle K-CALの切断とデザイン位置合わせを行ってください。
- ジョイントの目地や固定用のビス跡については、当社推奨品パテにて補修して下さい。

用意する材料

材料	品番(推奨品)	推奨メーカー
Belle K-CAL	規定の品番	旭コンステック(株)
両面テープ	TMテープ W1-20	コニシ(株)
接着剤	MPX-1	コニシ(株)
プライマー	シールプライマー # 25	コニシ(株)
ビス*	M3×3.5	一般製品
パテ	一発パテ	関西パテ化工(株)

※下地が木下地の時は木ビス、スタッドの時はタッピングビスを使用して下さい。

上記の曲げの方向を守らない場合、割れ・折れが発生します。

建設業許可国土交通大臣許可第8470号

旭コンステック株式会社

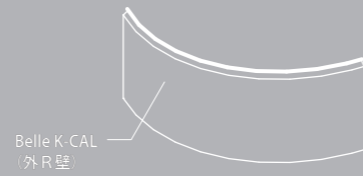
<http://product.asachunet.co.jp/>

本社 中部事業部 〒490-1296 愛知県あま市乙之子八反田12
☎ 052-445-2022 ☎ 052-445-2023

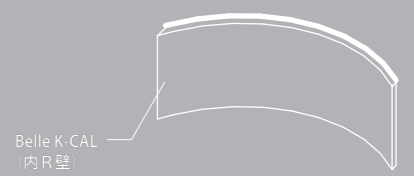
東京支店 〒103-0006 東京都中央区日本橋富沢町10-18
ユニゾ東日本橋ビル5F
☎ 03-3639-3340 ☎ 03-3639-3343

北陸営業所 〒920-0027 石川県金沢市駅西新町三丁目16-30
☎ 076-255-1417 ☎ 076-222-1418

曲面壁施工方法（外R壁への施工）



曲面壁施工方法（内R壁への施工）



1. 取付け前準備

①下地の確認と清掃

- 下地が十分に乾燥、油分・ゴミなどの付着が無いことを確認して下さい。
- 下地面に不陸が無く、曲面も一定であることを確認して下さい。
- ビス頭など、表面に突起物が無いことを確認して下さい。
- ビス固定できる下地があるか確認して下さい。
(Belle K-CALの端部をビス固定するため、ジョイント部には、下地が必要です。)

②プライマー塗布

プライマーを下地面に塗布し、乾燥させて下さい。
(Belle K-CAL裏面は、工場にてシーラー処理済です。)

③Belle K-CALへのテープ、接着剤塗布

Belle K-CAL裏面へ、図1の様に両面テープの貼り付けと接着剤を塗布します。

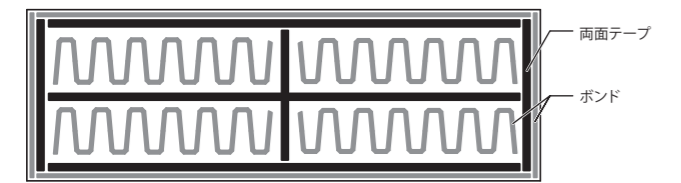


図1. 両面テープ貼り付け、接着剤塗布方法

2. 取付け

①基点位置確認

○図2の様に、基点位置へBelle K-CAL短端部を合わせます。(横貼り)

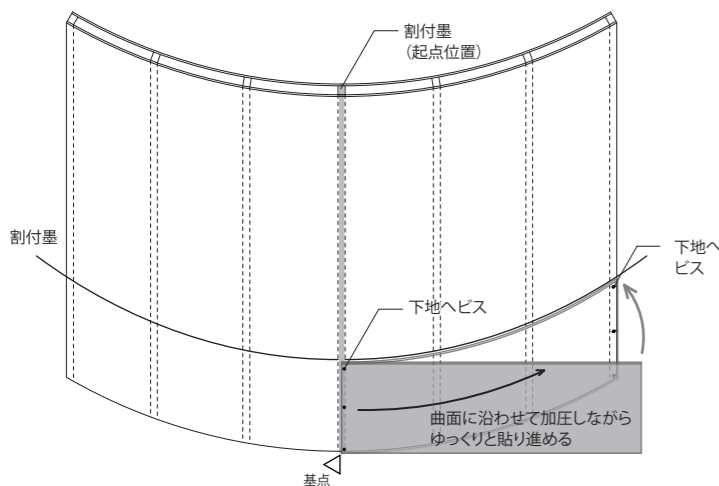


図2. 基点位置 (Belle K-CAL 横貼り)

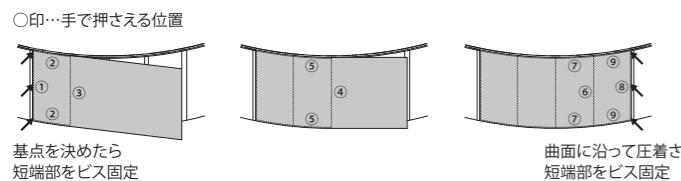


図3. 貼り進める順番

②基点側の短端部ビス固定

- 図3の①②の位置をしっかりと壁面へ押さえながら、短端部へ3箇所以上ビス固定します。
- ※ビスの固定位置は、Belle K-CAL端部から15mm以上離し、且つパテ補修しやすい平坦部として下さい。
- ※ビス固定の際、必ず下地面とBelle K-CALをしっかりと密着させながら行って下さい。
(隙間があると、Belle K-CALを打ち抜いてしまう恐れがあります。)
- ※ビスは強く打ち込みすぎないように仕上げ面に軽く沈む程度(2mm程度を目安)として下さい。

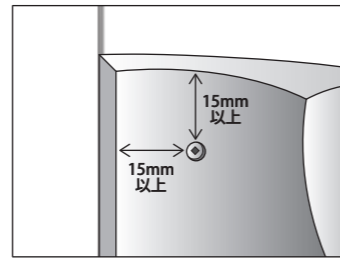


図4. 端部ビス固定

③圧着固定

- 図3の様に(①～⑨の順に)曲面に沿わせて両面テープを圧着させながら、順番に固定していきます。
- ※急激に曲げると、Belle K-CALが破断しますので注意して下さい。

④端部ビス固定

- 図3の様に曲面に沿わせて圧着させながら曲げた後、基点の反対側の短端部を3箇所以上ビスで固定します。状況により、他の箇所にも適宜ビスによる固定を行って下さい。
- ※ビス固定について、上記②基点側の短端部ビス固定の注意事項を参照して下さい。

⑤パテ補修

○Belle K-CALに固定したビスの頭部をパテで補修します。
(ジョイント目地部も同様に補修します。)

④養生

- 接着剤が硬化(夏季1日、冬季3日以上)するまで、養生を行って下さい。
- パテ硬化後、平滑面を出して下さい。

3. 仕上げ

仕上げ塗装をして下さい。

1. 取付け前準備

①下地の確認と清掃

- 下地が十分に乾燥、油分・ゴミなどの付着が無いことを確認して下さい。
- 下地面に不陸が無く、曲面も一定であることを確認して下さい。
- ビス頭など、表面に突起物が無いことを確認して下さい。
- ビス固定できる下地があるか確認して下さい。
(Belle K-CALの端部をビス固定するため、ジョイント部には、下地が必要です。)

②プライマー塗布

プライマーを下地面に塗布し、乾燥させて下さい。
(Belle K-CAL裏面は、工場にてシーラー処理済です。)

③Belle K-CALへのテープ、接着剤塗布

Belle K-CAL裏面へ、図5の様に両面テープの貼り付けと接着剤を塗布します。

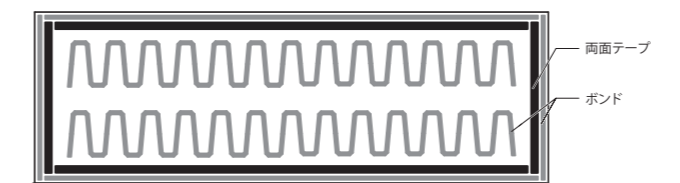


図5. 両面テープ貼り付け、接着剤塗布方法

2. 取付け

①基点位置確認

- 図6の様に、基点位置へBelle K-CAL短端部を合わせます。(横貼り)
- 図7の様に(①～⑨の順に)曲面に沿うように、しっかりと両面テープを加圧しながら、順番に固定していきます。
- ※急激に曲げると、Belle K-CALが破断する危険があるので注意して下さい。

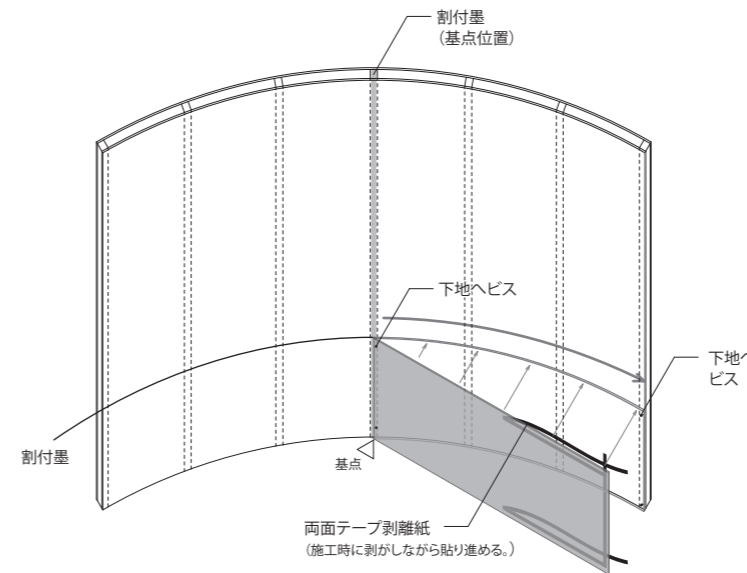


図6. 基点位置 (Belle K-CAL 横貼り)

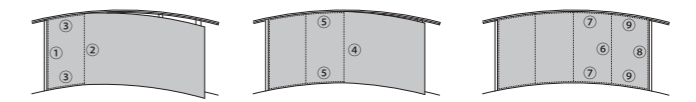


図7. 貼り進める順番

②端部ビス固定

- 図6の様に端部をビスで固定します。曲面壁に沿わせて圧着させた後、基点側と同じようにビスで固定して下さい。
- Belle K-CAL端部4ヶ所はビス固定し、状況により、適宜ビスによる固定を行って下さい。
- ※ビスの固定位置は、Belle K-CAL端部から15mm以上離し、且つパテ補修しやすい平坦部として下さい。
- ※ビス固定の際、下地面とBelle K-CALを密着させながら行って下さい。
(隙間があると、Belle K-CALを打ち抜いてしまう恐れがあります。)
- ※ビスは強く打ち込みすぎないように仕上げ面に軽く沈む程度(2mm程度を目安)として下さい。

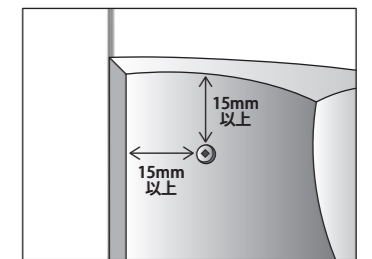


図8. 端部ビス固定

③パテ補修

○Belle K-CALに固定したビスの頭部をパテで補修します。

④養生

- 接着剤が硬化(夏季1日、冬季3日以上)するまで、養生を行って下さい。
- パテ硬化後、平滑面を出して下さい。

3. 仕上げ

仕上げ塗装をして下さい。